

菅谷研究室ゼミ合宿報告書

申請者氏名：菅谷克行（現代社会学科 メディア文化メジャー 教授）

申請 No：1-22

事業区分：学生の教育研究活動支援

参加者：学生 16 名（3 年生 7 名、4 年生 9 名）、教員 1 名

実施日時：2025 年 9 月 17 日（水）～9 月 19 日（金），於：長野県北佐久郡軽井沢町

菅谷研究室では、専門教育・研究指導の一環として、毎年夏に合宿形式のゼミを実施している。専門分野・研究に関する学びの深化と、学年を超えたゼミ生相互の親睦を深めることを主テーマとし、学生が中心となって企画・実施している。

今年度の合宿は長野県軽井沢町のコテージに宿泊して、主に下記の活動をおこなった。

◎卒業研究の進捗報告

卒業研究の進捗状況を口頭発表形式により報告した。質疑応答を通じ、中間発表会までに解決すべき課題や、卒業論文執筆上の留意点を確認した。

◎就職活動に関する報告と後輩への助言

キャリア支援教育の一環として、就職活動を終えたばかりの 4 年生による就活対策講座を実施した。自己分析、ES 作成、ガクチカ、適性検査、面接等の対策をどのように行ったのかを配布資料に基づいて発表し、質疑応答をおこなった。宿泊所内でのゼミのため、時間的制約を気にすることなくディスカッションを深めることができ、貴重な情報共有の場となった。

◎情報デザインの観点で軽井沢町の各所を見学

宿泊した軽井沢町周辺の各所を、情報デザインの要素を探しながら散策した。宿泊所に戻ってから、3 年生は各自の着眼点や分析内容について写真を提示しながら発表し、質疑応答・ディスカッションをおこなった。この活動を通して、情報デザインの知見が実社会でどのように活かされているのかを幅広い観点で確認することができ、専門分野の理解深化につながった。

また、宿泊所近くの森にムササビの滑空を見に行ったり、浅間高原を散歩したり、軽井沢絵本の森美術館・エルツおもちゃ博物館の見学では、絵本の歴史・文化やドイツ・エルツ地方の伝統工芸である木工玩具のデザインについて学んだりすることもできた。参加者全員が、心温まる自然環境の中で、貴重な体験を含め、豊かな時間を過ごすことができた。

なお、企画・予約・しおり作成などの事前準備やゼミ活動内容も含め、合宿全般を通じて学生の主体的活動により計画・実行された。そのため、研究・学術面の理解深化のみならず、コミュニケーション力、協調性、企画力、実行力などの育成にもつながる、総合的な学びの機会として充実した合宿であった。

